

作成日：平成 24 年 8 月 31 日

日本色素販売株式会社

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： **Chrysophenine G**
会社名： 日本色素販売株式会社
住所： 東京都中央区日本橋堀留町 1-2-1 日本色素本社ビル 4F
担当部署： 東京本社
電話番号： 03-3663-6971
FAX 番号： 03-3663-7049

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性 / 引火ガス	: 分類対象外
可燃性 / 引火エアゾール	: 分類対象外
支燃性 / 酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分外
----------	-------

急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	: 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	: 分類できない
皮膚腐食性、刺激性	: 区分外
目に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2B
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性・急性	: 区分外
水性環境有害性・慢性	: 分類できない

ラベル要素

絵表示	: なし
注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 目への刺激
注意書き	
[安全対策]	: 使用前に取扱説明書を入手すること すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること 防塵マスク、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

取り扱った際は、よく手を洗うこと
環境への放出を避けること

[救急処置]

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと
- 目に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること
- 皮膚(または毛髪)に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに全ての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること

[保管] : 容器を密閉して換気の良い所で施錠して保管すること

[廃棄] : 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること
また、内容物や容器を国際・国・都道府県・市町村の規則にしたがって廃棄すること

3. 組成・成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : アゾ系直接染料
- 成分及び含有量 : 染料 100%
- 化学特性(化学式または構造式) : 営業上の機密事項につき、非公開
- 官報公示整理番号(安衛法) : 既存化学物質
- 官報公示整理番号(化審法) : 既存化学物質
- CAS No. : 営業上の機密事項につき、非公開
- 危険有害成分 : 該当しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、きれいな水でよくうがいをする。必要であれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 触れた部位を水で洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、医師の処置を受ける
- 飲みこんだ場合 : 医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消化剤 : 水噴霧、泡沫、粉末、炭酸ガス

消火活動を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際は適切な保護具を着用し、製品が皮膚や眼に付着しないようにする。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法 : 漏出源を遮断し、漏出を止める。回収作業は出来るだけ風上から行う。少量の場合は、土砂等で覆い、密閉できる空容器に回収した後、残りを雑巾でよく拭き取る。大量の場合は、漏出した染料を電気掃除機で吸引して回収する。

二次災害の防止策 : 回収した後に水で洗い流すが、この場合、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 着衣・皮膚・粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

注意事項 : 粉塵対策の完備した施設、または局所排気装置を使用する。基本的に屋外での取扱いは行わない。
水分の吸湿、異物混入防止のために使用後は速やかに容器に蓋をする。

安全取扱い注意事項 : 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う

保管

適切な保管条件 : 容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 : 規制されないダンボール箱・ファイバードラム等(内装:ポリエチレン袋)の吸湿防止対策を施した容器

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。

管理濃度 : 未設定

保護具

呼吸器用の保護具 : 取扱いには防塵マスクを着用すること

手の保護具	: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない保護手袋を着用
眼の保護具	: 取扱いには保護眼鏡を着用すること
皮膚及び身体の保護具	: 有機溶剤または化学薬品が浸透しにくい長袖作業衣、ゴム長靴、防止を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 粉体
色	: 黄色
臭い	: 特になし
PH	: データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: 該当しない
引火点	: なし
爆発特性	: データなし
密度	: 約 0.7

溶解性

溶媒に対する溶解性	: 30g/L(水・80)
-----------	----------------

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取扱条件において安定
反応性	: 通常取扱条件において反応性はない
危険有害な分解生成物	: 加熱や燃焼等により CO、Nox、Sox 等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

< 製品としての情報なし >

< 参考: 次の情報は色素成分についての情報 >

急性毒性	: ラット 経口 LD50 > 5,000mg/kg
局所効果(皮膚・眼など)	: 皮膚刺激性; 刺激性なし(うさぎ) 眼刺激性; 中程度の刺激性あり(うさぎ)
変異原性	: Ames テスト スクリーニング 2 菌株; 陰性

12. 環境影響情報

< 製品としての情報なし >

< 参考: 次の情報は色素成分についての情報 >

分解性 : 化審法試験条件において、微生物により分解されなかった。

生体蓄積性 : 化審法試験条件において、魚体に対する濃縮性は低い

生体毒性 : 魚毒性 LC50 >1,000mg/L (48hr ヒメダカ)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 適切な施設で焼却によって処理するか、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。これを含む廃水は、その地区を規制する法律に従って処理をする。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内法規制 : 特段の規制はない

国際法規制 : 特段の規制はない

国連分類・国連番号 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 : 直射日光を避ける。輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れがないことを確かめる。転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止処置を確実にを行う。

15. 適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法 : 既存化学物質
施行令第 18 条 (名称等を表示すべき有害物) に該当しない

消防法 : 非危険物

毒物・劇物法 : 該当しない

化審法 : 既存化学物質

化学物質管理促進法 : 第 1 種指定化学物質 (別表第 1) に該当しない
第 2 種指定化学物質 (別表第 2) に該当しない

16. その他の情報

一般に粉塵が発生するような労働環境下では、一般粉塵中の気中許容濃度として、以下のような勧告値がありますのでご参照ください。

日本産業衛生学界 (2008) : 第 3 種粉塵の総粉塵として 8mg/m³

ACGIH(2005) : 他に分類されない粉塵として 10mg/m³

引用文献

製品安全データシートの作成指針(改訂版:JIS Z 7250 2005 及び GHS Z 7252 2009)

(社)日本化学工業協会

日本産業衛生学会(2008 年度版)

ACGIH(2005 年度版)

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改定初版

・本製品は業務用(工業用)です。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社にて事前に安全性を確認して下さい。

・体内に埋植、注入したり、または体内に本製品の一部が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱下さい。

記載内容の問合せ先:

日本色素販売株式会社

TEL:03-3663-6971

FAX:03-3663-7049